

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	公益財団法人鉄道弘済会 総合福祉センター弘済学園 保育所等訪問支援ダカーボ			
○保護者評価実施期間	2025年2月25日		～	2025年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		～	2025年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月25日		～	2025年3月18日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>【子ども本人に対する支援】 児童入所支援・児童発達支援等のキャリアを積んだ職員による訪問支援は、訪問先施設における生活の流れの中で集団生活への適応や日常生活動作の支援などを実施することができており、保護者評価より「子どもへの理解・特性に応じた専門性のある支援」「子どものニーズ・課題の分析」に高い評価を得ている。</p>	<p>【丁寧なアセスメントと行動観察】 家族からの生育歴・障害等の詳細にわたるアセスメントの面談を実施し、訪問時には、子どもの発達段階や障害特性を踏まえながら、職員・他児との関わりや集団活動への参加の様子等、丁寧に観察を行い、発達の過程を捉え、何が課題となっているのか、どのような支援が適切なかを検討している。</p>	<p>【関係機関との連携】 子ども本人を支援の輪の中心として考え、訪問先施設をはじめとした様々な関係者が関与して行われる必要がある。市町村・保育所・学校・児童発達支援・放課後等デイサービス・医療機関等と日頃から連携を図る必要があり、今後はこれらの関係機関との連携を視野に入れた支援を検討する。</p>
2	<p>【訪問先施設職員に対する支援】 訪問先施設からの事業所評価の結果は、助言や説明が具体的でわかりやすく、支援に対する知識・技術等に満足し、課題や困りごとが解消・軽減されているとの高評価を得ている。事業所からの支援に満足しているとのことだった。専門性の高い職員を配置していることが事業所の強みとなっている。</p>	<p>【訪問先施設との相互理解の構築】 訪問先職員に対し、子どもとの関わりの中で把握した子どもの強みや、子どもの全体像の捉え方等を訪問先に伝えると共に、子どものニーズや今後の支援の進め方を共有する機会をもつようしている。子ども本人の発達の状況や障害特性、支援内容等の情報共有をする時間を大切にしている。</p>	<p>【保育所等訪問支援計画作成にあたっての連携】 保育所等訪問支援計画の立案の際に、個別支援会議において訪問先施設から個別の指導計画・教育支援計画等の提示を求めるところを徹底していなかった。今後は保護者の同意を得た上で、訪問先にこれらの計画の提示をもとめ、子どもの全体像を捉え、将来に向けての支援も含めて検討する。</p>
3	<p>【保護者に対する支援】 訪問先施設における子どもの様子や、訪問先施設の職員の子どもへの関わり方などを含め、提供した保育所等訪問支援の内容を伝えること、家庭生活で活かせるような内容についても丁寧に伝えている。今回の評価においても保護者への説明等では、高評価を得ている。</p>	<p>【保護者との信頼関係の構築】 今回の評価では全員の保護者が「事業所の職員から共感的に支援をされている」と回答している。保護者にこの共感が得られなければ、子ども本人への支援は始まらない。児童入所・児童発達支援等のキャリアを積んだ職員により、子育てに関する悩み相談・助言等を実施することができている。</p>	<p>【家族に向けての研修会の開催・情報提供】 保護者に対する支援としては個別には充足できているとの評価があるものの「家族のウェルビーイングの向上」と「エンパワメントを前提とした支援」のための研修会等は開催していない。今後は家族支援プログラム等の検討を図り、ペアレント・トレーニング等研修会の情報提供も検討する。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>【非常時等の対応】 保護者からの評価において、定期的に通信やHP/SNS等で活動概要や連絡体制等の情報の発信や「自己評価の開示」「緊急時の対応を訪問先と連携」「子どもの安全を確保するための計画」等が「わからない」と回答されている保護者が3割以上になっている。これが事業所の弱みだと思われる。</p>	<p>【周知の不徹底】 事業所としては、保育所等訪問支援に対する考え方は「適切な支援の提供」「保護者への説明等」のことも、訪問先施設への支援、保護者への説明が重要であり、その他の取り組みに対する情報を開示することは念頭に置かれていなかった。令和6年7月に通知された「保育所等訪問支援ガイドライン」でこれらの確認をしている。</p>	<p>【保護者周知の方法の検討】 評価については3月末までにHPにて公表し、他「緊急時の対応」「子どもの安全を確保するための計画」も今後どのように周知していくのか、の検討をする。「業務継続計画」「感染症対応マニュアル」に関しても、保護者への情報提供を実施し、平常時より緊急時への対応をシミュレーションする必要がある。</p>
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援ダカーボ					公表日	2025年 3月 31日			
						配布数	23	回収数	22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1	0	13	・頻度については話しているが、訪問の日時は知らせが来ていない。訪問の前にお話したい内容もあるので、日程の連絡がほしい。 ・児童発達支援を利用していたことで、小学校入学後の保育所等訪問支援もスムーズに利用できた。登校しぶりからの利用希望であったが、最適な支援が受けられたことで年度末は全く問題なく通学できている。親の立場では学校に伝えることが難しい内容も間に入ってもらえることで円滑に解決できると思う。ただ、支援員の力量次第で全く異なった結果になるように思われる。学校でどのように過ごせているのか全くわからないので、教えてもらえることは貴重。もう少し利用日数が増えると良い。 ・相談をすると迅速に対応してくれている。共感や理解をしてくれて提案もしてくれる。子どものことで新しい発見もあり、助かっている。	・教具教材について、訪問先で使用している教具教材の助言を行うことを基本としている。 ・今後、訪問の日時を保護者に周知することは徹底し、必ず本人の状況の事前情報を入手する。			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	21	0	0	1					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22	0	0	0					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20	1	1	0					
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	19	2	0	1					
適切 な 支 援 の 提 供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	0	・「わからない」の数値が高い「家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）研修会や情報提供の機会は今後は児童発達支援センターとも連携し、進めていきたい。 ・利用者負担等についての説明は、不十分であったと反省している。令和6年度から取得をしている加算等を踏まえ、今後は利用者負担額の詳細な説明を実施する。				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	19	0	1	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	20	0	0	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	5	・担任の先生・校長先生・医師・訪問看護師・理学療法士の方々と連携し、本人のことを考えて下さり、感謝。 ・本人の日々の学校の様子を教えていただき、ありがたい。 ・担任の先生から訪問時のお話をうかがい、よく見学・話し合いがされていると思う。 ・縦の時間軸で支援していただけるのは本人にとっても、親にとっても心強い。「もう頑張れない」と落ち込んだ時に、いつも寄り添ってくれた。支援員がいたからこそ、今がある。本当に感謝している。				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	0	0					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11	0	3	8					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21	0	1	0					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	0	0					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	1	2					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	1						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	0	1	2	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	21	1	0	0	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	22	0	0	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時等の対応については、個人情報の取り扱いを除き、「わからない」との回答が多くなっている。この評価に関しても、令和7年3月末までにHP上で公表する予定である。 ・緊急時の対応については、BCPの作成・職員研修等も含めて、周知できるように準備する。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	2	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	0	0	8	
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	6	
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21	1	0	0	
	28	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 3月 31日	
保育所等訪問支援ダカーボ		配布数			23 回収数 17	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や本人の困り感への支援方法を具体的に提示していただきわかりやすかったが、学校では実現が難しいものもあった。 ・いつも詳しいフィードバックでありがたい。 ・取り入れやすさは、難しいこともある。学校でできること、担任ができることもあり、学校内での検討が必要。 ・丁寧な助言や保育や活動内容に合ったアドバイスがとても実践しやすいものだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助言や説明を具体的に提示し、わかりやすかったという意見がある反面、学校の現場では実現が難しいものもあった、との意見もあった。 ・訪問支援員は「理想」を目指さなければならないが、学校現場で実際に行う教員ができることをコミュニケーションを取りながら、確認をしていく行程を踏むようにする。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	14	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な助言をいただけて助かった。 ・とても助かります。もっとうご指導下さい。 ・実際に保育に入って下さったので、園児の接し方や声かけ、支援の方法等いつも学ばせていただき、満足しています。 		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に話を聞いていただき、ありがたかった。 ・いつも寄り添った形で助言をいただけて助かっています。 ・ありがとうございます。本当に指針になります。 ・特に質問することはなかった。 ・悩みや質問に対して丁寧に回答をしていただき、参考になることがたくさんありました。 		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内容によっては、負担がかかるものもあった。ただ、本人の困り感の軽減につながる様子もあったため、他機関の紹介等があるとありがたかった。 ・研修で弘済学園を訪問した際の話が非常に参考になった。 ・本人を見ると、軽減されるように見えます。 ・訪問支援を利用したことで、その知識や対応を受けて保護者の安心感につながり、課題や悩みが軽減、解消されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の課題や困りごとを軽減させるためのコミュニケーションの量が必要である。他機関の紹介等はどのような機関をイメージされているのかは不明。 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	15	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間ありがとうございました。 ・大変満足しています。 		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・保護者との直接のやりとりになると聞きにくいこと、言いにくいことがあるため、支援員さんと話ができることで大変助かりました。支援級の子どもにとって多くの目で見ることがとても大切だと思う。これからよろしくお願ひします。/・いつもアドバイス下さり、ありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。/・いつもお忙しい中、ご対応ありがとうございます。今後も連携しながら生徒やご家庭の支援をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。/・大変わかりやすく、丁寧に助言をいただき、感謝しております。しかし、学校現場では対応が難しい点もあり、ご助言どおりにできない点がありました。本人の特性に寄り添った支援が参考になりました。/・個別支援計画書や報告書をわかりやすく作成していただき、ありがとうございました。今後の支援に活かしていきたいと思ひます。/・とても助かりました。/・丁寧にみていただき、フィードバックまでして下さり、本当にありがとうございました。/・細かく見ていただき、フィードバックしてもらえるので、行っている支援が適しているか、判断できます。ありがとうございます。/・実際に保育に入っていただいたり、お話をうかがう中で、いつも的確で丁寧なアドバイスをいただけること、園児のことはもちろん、私自身の悩みや困りごとに対しても、具体的な序言をいただけることにいつも感謝の気持ちでいっぱいです。訪問支援があることでより良い保育につながっていると実感しています。また、保護者と関わって下さることにより、保護者の意識や家庭での接し方などが変わり、子の成長につながっていること、感謝しています。ありがとうございました。/・弘済学園と連携し、学校での様子を双方から保護者の方へ伝えられたことで、保護者の気持ちがいよいよ和らぎ、安心感につながったと思ひます。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に訪問支援に関して受け入れる側の施設、学校が満足されていることがわかった。児童の「困り感」「課題」の解消や軽減を解決するための支援の方向性が、訪問先と保育所等訪問支援で統一される必要がある。「どちらともいえない」に回答している数字は、この支援の方向性の統一に関して「納得できない」ような場合も想定される。今後は、訪問先施設が「納得して先にすすむことができること」を大切にすすめていくようにする。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援ダカーボ			公表日	2025年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 営・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1	保育所・幼稚園等未就学児に向けての支援では食事等への支援で教具教材の使用はあるが、訪問先の教具教材に関して助言を行うことを基本としている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	現段階では「第三者評価」を実施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2	訪問支援員が全員他事業との兼務での支援となっている。このことから、緊急性が高く、早急に支援会議が必要なケースは振り返りを行うが、他ケースに関しては、職員間での振り返りを開催することが時間的に難しい現状がある。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2	現在の訪問支援員は、児童発達支援に携わる他職員を指導する立場であり、すでに今までに多くの外部研修に参加している経験がある。また、訪問支援員が他施設・事業所に招へいされて、助言・指導を実施している立場である。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	家族に向けて、家族支援プログラム・研修に参加する機会の情報を提供していなかった。今後は、これらの研修の機会を提供し、家族への対応力の向上を図るようにする。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	1	令和6年4月からの報酬改定等で利用者負担額も変更になっているが、書面をもった説明ができていなかった。早急に利用者負担額を書面をもって説明する予定である。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	児童入所支援・児童発達支援事業では、保護者会・保護者の活動への支援を実施しているが、保育所等訪問支援事業では、保護者間の連携を意図する機会の設定はなく、今後もこの予定はなし。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	2	今までHPの配信等は実施していなかった。この自己評価・保護者評価・訪問先評価はHPで公表するが、今後の通信等の予定はなし。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	2	各種マニュアルは整備しており、発生を想定した職員の訓練は実施しているが、家族に向けてそれを周知していない。今後は、これらのマニュアルを整備していること、訓練を実施していることを家族にも周知する予定である。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		